

# スタンドグラス英斉工房

業種名 スタンドグラス制作販売

会社名 英斉工房  
代表者 三浦 清英  
日本スタンドグラス芸術家協会会員  
所在地 安達郡岩代町東新殿字大林80  
〒0243 56 2544  
主要取扱品 スタンドグラスランプ  
ランプベース(台)・パネル

## お店の特色

スタンドグラスはヨーロッパを起源として、1000年以上の長い伝統の上に培われた代表的な視覚芸術です。一枚のスタンドグラスを通した光は、現代の人々にもどんなにか安らぎと満足感をもたらしております。このような時代を背景にして、日本でも一般住宅装飾および室内装飾品などにもスタンドグラスを取り入れたいとの需要が高まってきています。

その結果、これに関心を持つ人々の数も増え、着実に私たちの日常生活の中に浸透しつつ、一般の人の目に触れる機会が非常に多くなってきたこともご承知のとおりです。

英斉工房の三浦さんがスタンドグラス製作を始めるキッカケとなったのは、幼少のころからイラストや漫画を書くことが好きで色々な漫画の本を見ているとき、その中に一枚のスタンドグラスで作られた装飾品が掲載されていた写真を見て、その美しさ、すばらしさに感動し、自分でも作ってみたいという気持ちが強くなり、スタンドグラス製作の教室に入り基礎的な技術を身につけ、その後は持ち前の創造性および技術を基に独学で技法を習得しました。

昭和58年6月には第37回福島県総合美術展工芸の部にスタンドグラスで製作したランプが入選したことで自信が持てるようになり、昭和59年8月に英斉工房を設立、昭和61年には「日本スタンドグラス」グランドショーにおいて優秀作品賞を受賞するなど各種の発表会等に出席し輝かしい賞を受賞しております。

スタンドグラスのランプおよびパネル作りの取り組みについては、自分なりに美学をもって美の本質を研究しながら、「正しい心」美しい作品を作る」ことを念頭におき、個々のバランスと調和を基本として全体の調和が取れていることを重視しながら、さらに「カサとベース(台)」を個々に作るのではなく一体であることを基本として設計製作し、その過程のなかから素晴らしい調和を生み出していきます。

また、それぞれの作品にはストーリーがあり、そ

のストーリーのポイントを最大限に表現することが大切であり、自分自身が追い求めている作品作りは「天と地のあいだの空間」を表現することが大切であると考えております。

これからの作品作りについては、今までの考え方にとらわれず、人生を前進することですが、もっと大切なことは、それは自分自身立ち止まることではないのか、立ち止まって後ろを振り返りながら自分の足跡を見れば自分の姿が見えるような気がする。前に進むことだけに気をとられると心も体も空回りして前に進まないときがあります。また、想い、考え、行動等は定規で計ることはできませんが、どこかに基準となるものがあると思っており、その作品を完成させるための答えを解くために、日々の生活の中で努力を重ねて行くことが大切と思っております。それが温もり、安らぎが感じられ完成度の高い良い作品を生む源となります。

スタンドグラスの完成作品にとって最も大切なことは、スタンドグラスの持つ特殊な光や輝きを生み出すデザインです。見る人の心を楽しくさせ、心の感動を呼び、心おちつかせることが大切です。

スタンドグラスのきらめき、スタンドグラスのあかりの持つあたたかさとしなやかさを色という魔法で包みこむような作品をこれからも作り続けていきたいと話しておりました。

また、スタンドグラスのランプおよびパネル等の作製については多少の時間はかかりますが、イメージ・デザイン等の要望があれば世界に一つしかない作品を作ることも可能です。

